



## 学生対象マッチング説明会&amp;臨床研修病院合同説明会を開催!

宮崎大学医学部生を対象とした「マッチング説明会&宮崎県内基幹型臨床研修病院合同説明会」が6月7日(金)に宮崎大学医学部で開催されました。本学卒後臨床研修センターの小松副センター長による本年度のマッチング概要の説明後、県内の7基幹型病院(県立宮崎/延岡/日南、古賀総合、宮崎生協、藤元総合、宮崎大学)の研修担当者が、約90名の参加者を前に、研修プログラムの魅力と特徴を熱くプレゼンして下さいました。



## 新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会

第24回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会(宮崎県医師会主催)が7月9日(火)に宮崎観光ホテルにおいて開催されました。

祝賀会は宮崎県医師会長の挨拶から始まり、宮崎県知事、本院病院長から激励の言葉をいただきました。新研修医代表として、山口智子先生(写真左)が感謝の言葉と今後の抱負、決意を述べました。

また、新研修医54名(本院39名、県立宮崎病院9名、県立延岡病院1名、古賀総合病院2名、宮崎生協病院3名)が紹介され、研修医一人ひとりが今後の抱負等を述べ、和やかな雰囲気の中、閉会しました。

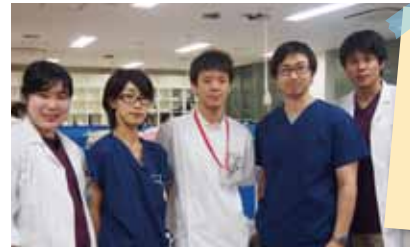


## 研修医の声



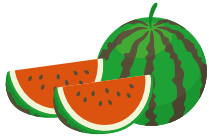
**Voice**  
1年次研修医  
中澤 枝里子  
(左から2番目)

研修医としての生活が始まってから毎日があっという間で、季節はもう夏を迎えようとしています。去年の今頃まで初期研修先をどうするか悩んでおりましたが、今では宮崎大学の初期研修プログラムを選択して本当に良かったと思っています。宮崎大学の初期研修はローテーション選択の自由度が高く、大学病院や市中病院など様々な施設での研修を組み合わせることができます。各施設、診療科ごとの特性を活かして、自分だけの研修プログラムを組むことができるため、充実した研修生活を送ることができます。研修医としての2年間だからこそ学べることやできることが沢山あると思いますので、その1つ1つ大切に、支えてくださる皆さんに感謝しながら日々精進してまいります。よろしくをお願いします。



**Voice**  
2年次研修医  
村岡 純輔  
(写真中央)

学生時代に、患者さんのために一丸となって日夜奮闘する産婦人科スタッフの姿に憧れ、私は迷うことなく産婦人科/周産期研修重点プログラムを選択しました。研修医2年目の6月から産婦人科のNICUで研修しています。体重が1000グラムにも満たない新生児が何人もいるNICUでは、日々たくさんの出来事がある中で頭の中は溢れています。教育熱心な先生方に囲まれての研修はとても楽しく充実しています。毎日のカンファレンスや、学会に参加したり文献を読んだり、知的好奇心が止む隙はありません。産婦人科に少しでも興味がある方には、ぜひ大学の産婦人科で研修して欲しいと思います。



# 研修協力施設・本院診療科紹介



## 協力施設 宮永ENTクリニック

当院では開業以来、日帰り手術を行っている。慢性中耳炎に鼓室形成術を(毎年週刊朝日にて症例数を掲載)、慢性副鼻腔炎に鼻内副鼻腔手術を施行している。外来診療では丁寧に診察、検査、説明をしたうえで処置



を行っている。幼児では保護者にモニターを使って説明しながら処置を行い、病状を保護者によく判ってもらい、互いに協力しながら治療できるように心がけている。急性中耳炎や慢性中耳炎、中耳真珠腫、急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎、急性咽頭喉頭炎、難聴、眩暈症、唾液腺炎、顔面神経麻痺、反回神経麻痺など多彩な病状を診察加療する経験は研修を終えたのちの医療人生にきっと役に立つでしょう。

## 本院 検査部



当検査部では①患者を対象とした超音波検査(循環器)、心電図、脳波、肺機能、②検体を対象とした血液、生化学、免疫血清、遺伝子検査、③感染対策を含む微生物検査まで広い領域の臨床検査を実施しています。外来の採血業務から報告まで円滑な業務遂行に努めるとともに、教育・研究面では医学部学生及び医療従事者の養成、検査業務に関する研究活動、南九州に感染者が多いHTLV-1感染症の研究など行っています。

## 本院 麻酔科

当院での麻酔科研修では、実際に周術期麻酔管理を担当して頂きます。麻酔管理中は、経験豊富な麻酔専門医が、麻酔開始時から終了時まで強力にバックアップします。どの症例を担当するかは各人のやる気と熟達度、研修期間次第です。生体管理の基本を厳格に学びたい研修医の方、是非参加して下さい。外科系に興味のある方にとって、手術室のコンダクターたる麻酔科医の立ち位置はまさに「特等席」です。手術見学にも最適です。



## 本院 集中治療部

集中治療部では、毎年多くの医科及び歯科の先生方を受け入れています。気管挿管を含む呼吸療法や、急性腎障害に対する腎代替療法、敗血症性ショックに対するエンドトキシン吸着療法など、集中治療室で行われる代表的な治療と一緒に取り組んでいただきます。宮崎大学の集中治療部は、日本では比較的珍しく、専任医師のみで24時間体制を組んでいる施設です。充実した指導体制によって、皆さんの卒後研修を力強くサポートできると信じています。



## 指導医からのメッセージ



### 救命救急センター 長野 健彦 先生

救命救急センターの長野と申します。平成24年から当院で働かせて頂いておりますが、それまでは宮崎善仁会病院や沖縄県立中部病院でプライマリケアを中心とした救急医療を学んできました。研修2年間は医師人生の中で最も重要な2年間で、内科的な基礎をしっかり身につけることが最も重要だと思います。救急外来やプライマリケアはそれらを学ぶのに非常に適した場所です。また救命センターでは重症患者の初療や全身管理を通して最新の救急医療を学び、ドクターヘリでの病院前活動では医の原点を学ぶことができます。色々なことに興味を持って、色々な場所に顔を出して、沢山の患者さんを診て、沢山の教科書を読んで、多くのことを吸収してください。研修生活は大変だとは思いますが熱意のある指導医と出会い学んだことを後輩に伝えていけるように2年間頑張ってください。みなさんの研修を全力で応援します！

<写真: 1列目右端>



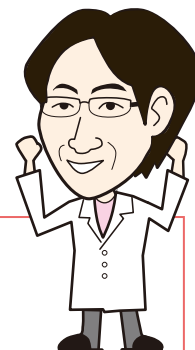


# 研修プログラムお助け Q&A



## 【第1回】自由選択研修の研修先変更について

**Q** 9月現在★病院で研修中です。11月から2か月間、自由選択研修である●病院の内科研修の予定となっていますが、できれば◆病院の皮膚科に変更を希望したいのですが、可能でしょうか？(質問者: 研修医Zさん)



**A** 卒後臨床研修センターでは、2年次の自由選択研修においては、以下の①～⑤の基準を満たした場合に、研修医の希望による研修先の変更を認めています。

- ①2年次の自由選択研修における1回・1診療科同士の変更(ただし同一病院内での変更の場合のみ、1診療科⇔2診療科の変更は可とする)であること。
- ②研修に対して向上性かつ積極性がある変更理由であること(卒後臨床研修センター副センター長との事前面談が必須)。
- ③当初研修予定および新規変更希望の研修病院からの了承は研修医本人が得ること。
- ④申請事項は、卒後臨床研修センター運営委員会で審議のうえ決定されること。
- ⑤研修先変更申請書は、該当する研修期間の3か月前の月の10日までに(例: 11月からの研修期間であれば8月10日までに)係に提出すること。ただし、同一病院内での診療科変更の場合は、変更を希望する2月前の10日までは申請受付を可とする(例: 大学病院のX診療科からY診療科への変更)。

今回のケースは、違う病院間での研修診療科変更希望です。したがって、9月の時点で11月の研修先変更願を提出しても、⑤を満たしていないので、残念ながら受け付けられないことになります。一見、厳しいルールのように見えますが、一度決定したローテートを変更することは、受入側の準備や採用手続き等を含めある一定の期間が必要ですし、関係者にも大きな影響が出ます。

一方で、研修医の皆さんの意向も可能な限り反映させたいという思いもあり、透明性・公平性を保ちつつみんなが納得いく研修プログラム運営にするために決めた方法です。変更は1回しかできませんが、希望がある場合は、熟慮しつつも早めに方針を決め、有効に活用していただきたいと思います。(回答者: 副センター長 小松)



## 研修センターコラム



### 「大学病院に通うということ」

宮内 俊一 先生 (卒後臨床研修センター)



私は体調の都合で、小学校を卒業するまでずっと1～2ヶ月に1度のペースで地元の大学病院に通っていました。自宅からその大学病院までは遠い道のりで、冬などは夜明け前に家を出て、親に連れられ電車やバスやタクシーを乗り継いでやっと病院へ。能天気な自分は当時は小旅行の気分で特に苦労は感じませんでしたが、親の目線で考えると結構な労力だったかと思います。宮崎大学病院も清武の地にあってお世辞にも交通アクセスが良いとは言えません。外来には県内各所から患者さんが見えます。「朝5時起きです」という延岡の方、宮崎市内の親戚の家に前夜泊まったという串間の方……。そういう方々の話を聞くにつけ、自分の小さい頃が思い出され、仮に外来日以外の日の来院であっても何とか診てあげたいくなります。他の業務で無理な場合もありますが、「明日直出してきて」とは簡単に言えない自分がいます。今われわれにとって大学病院は日常の場であり研鑽を積む職場なんですけど、『大学病院受診の日』っていうのは患者・家族にとっては大きなイベントなんですよ。そのことはずっと忘れないでいたいと思っています。



# レジナビ 2013 in 大阪&東京



病院説明会「レジナビフェア2013」が6月30日(日)大阪会場(インテックス大阪)、7月14日(日)東京会場(東京ビッグサイト)で開催されました。本県ブースは宮崎県臨床研修病院群として連携して3年目となり、平成26年度から基幹型病院となる藤元総合病院を加え、本県7基幹型臨床研修病院が参加し、宮崎県の医師確保のため各病院のプログラムをアピールしました。全国から大勢の方が参加し、宮崎県ブースには宮崎にゆかりのない人も説明を聞きに訪れ、大阪会場24名、東京会場34名が訪問して下さいました。多くの方が病院見学や面接に来られるよう繋いでいきたいと思っております。



## 行事案内

8月	8日(木)	第1回 歯科医師臨床研修マッチング面接	
	19日(月)	第1回 医師臨床研修マッチング面接	
	22日(木)	第2回 歯科医師臨床研修マッチング面接	
	29日(木)	第3回 歯科医師臨床研修マッチング面接	
9月	2日(月)	第2回 医師臨床研修マッチング面接	
	12日(木)	第4回 歯科医師臨床研修マッチング面接	
	19日(木)	第5回 歯科医師臨床研修マッチング面接	
	20日(金)	国立大学附属病院長会議 第10回医師臨床研修協議会(京都)	
	22日(日)	e-レジフェア2013 in 福岡	
10月	28日(土)	宮崎大学診療科説明会	
	24日(木)	医師臨床研修マッチング決定	
	29日(火)	歯科医師臨床研修マッチング決定	
11月	30日(土)	ローテート説明会	
12月	14日(土)~15日(日)	指導医のための教育ワークショップ(宮崎市)	



## 先生紹介

福田 顕弘 先生 (卒後臨床研修センター教員)



平成25年5月より芦塚先生の後を受けて卒後臨床研修センターに配属となりました。平成14年に当時の宮崎医科大学を卒業し12年目になります。第一内科に所属し、専門は腎臓内科です。現在は、研究室での仕事を中心に、病棟にいる時間は少ないですが、少しでも研修医の皆さんのお手伝いできればと思っています。私も新米でまだよくわからないことも多いですが、一緒に勉強していきましょう。よろしくお祈りいたします。

宮崎大学 医学部 総務課 卒後臨床研修係 (内線: 2385/2386)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200  
 TEL:0985-85-1864 / FAX:0985-85-3101  
 E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp